



北海道中小企業家同友会南しれとこ支部 第25回定時総会

2007年4月24日
寿宴

=====<第1部 総会 18:00~18:25>=====

1. 開会挨拶 北海道中小企業家同友会南しれとこ支部 支部長 今野 慎也
2. 来賓紹介
3. 祝辞 北海道根室支庁 支庁長 廣野 秀夫様
中標津町 町長 西澤 雄一様
4. 議長選出
5. 議事
 - ①役員選考委員選出
 - ②報告事項 <1>2006年度の活動と決算報告
<2>会計監査報告
 - ③議題 <1>2007年度の活動方針案と予算案の提案
<2>2007年度役員選出
 - ④質疑応答
 - ⑤採択
6. 議長退任

=====<第2部 記念講演 18:30~19:30>=====

<テーマ> 「社風が人を育てる」
～同友会の共育理念と社員教育活動での学びをもとに～

<講師> (株)ユタカ商会 代表取締役 本郷 利武氏
(北海道中小企業家同友会 代表理事)



【第一回幹事会】

=====<第3部 懇親会 19:35~20:45>=====

1. 第一回幹事会の報告
2. 新支部長挨拶
3. 祝杯 中標津町商工会 会長 大橋 清勝様
4. 懇談
5. スピーチ 中標津町議会 議長 萬 和男様
大地みらい信用金庫中標津支店 支店長 谷川 正弘様
釧路信用組合中標津支店 支店長 津坂 重輝様
中標津青年会議所 理事長 林 武陽様
6. 閉会

同友会の３つの目的

1. 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と、強靱な経営体質をつくることをめざします。
2. 同友会は、多くの人に触れあうことによってお互いの人格、識見を高め、現代の経営者に要求される総合的な能力を身につけるよう努力します。
3. 同友会は中小企業をとりまく経営環境の改善をめざします。

同友会の３つの精神

自主・民主・連帯

同友会の目指す企業像

国民や地域と共に歩む中小企業

同友会が目指す２１世紀型企业

1. 自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。
2. 社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。

同友会の合言葉

1. 知り合い、学びあい、援けあい、共に繁栄を目指しましょう！
2. きばらず、せかず、諦めず、私たちの要望を実現しましょう！
3. 激動をよき友とする経営者になりましょう！

会員間取引の三つの申し合わせ

1. 同じものを買うなら会員企業から。会員にはなるべく安くて良いものを提供する
2. 率直に希望を出し合い、仕方なくお義理で取引するのはやめ、お互いに利益は保障する。
3. 取引を通じて、会員同士の友情と信頼が一層深まるよう努力する。

報告事項＜１＞ ２００６年度の活動と決算報告

中標津町・別海町・標津町・羅臼町の４町に広がる南しれとこ支部は、設立して２４年が経過しました。２００６年度は経済情勢の悪化にもかかわらず、「同友会三つの目的」に沿って着実に学集会を積み重ねてきました。

２００６年度の活動の特徴として次の４点が挙げられます。

- １．中標津町に中小企業振興基本条例を制定することを目指して、同友会、町、商工会で構成する三団体合同学習会を継続して開催しました。
- ２．１年間で７名の経営者が入会し、支部の会員数は１１１社へ前進しました。
- ３．経営指針づくり研究会が毎月例会を開催し、経営指針づくりへの機運が支部内に高まりました。
- ４．釧根経営セミナーを南しれとこ支部主管で開催し、中同協の赤石会長が講演しました。



【経営指針づくり研究会】



【釧根経営セミナー】

南しれとこ支部

2006年度の活動のまとめ

1. 釧根経営セミナー

中同協の赤石会長を招いて、「釧根三支部経営セミナー」を11月に開催しました。同友会の三つの目的、自主・民主・連帯の精神、国民と共に歩む中小企業という同友会理念を深く学ぶ契機になりました。さらに中標津町に働きかけている「中小企業振興基本条例」制定運動にも弾みがつきました。

2. 今年度目標の111社会員達成

2006年度は7社入会、5社退会と期首の109社から111社へと前進しました。

3. 経営指針づくり研究会の第二グループが終了

八ヶ月を費やして第二グループが経営指針を作成しました。2月例会では会員の山崎氏と加藤氏が実践報告をしました。

4. 別海地区で会員拡大が進む

2007年度に地区会の発会を目指す別海地区は、25社の会員数となり組織が充実してきました。

幹事会

2006年

4月6日	幹事会	16名	
			於 中標津経済センター
5月10日	南しれとこ4役会	7名	
			於 茶房かみたか
5月26日	幹事会	15名	
			於 中標津経済センター
6月12日	幹事会	17名	
			於 中標津経済センター
7月10日	幹事会	15名	
			於 中標津経済センター
8月7日	幹事会	17名	
			於 中標津経済センター
9月5日	幹事会	15名	
			於 中標津経済センター
10月3日	幹事会	16名	
			於 中標津経済センター
10月13日	四役会	7名	
			於 レストラン ラ・キンコ
11月6日	幹事会	17名	
			於 中標津経済センター
11月27日	4役会	7名	

			於 中標津経済センター
12月4日	幹事会	17名	
			於 中標津経済センター
2007年			
1月11日	幹事会	18名	
			於 中標津経済センター
2月1日	4役会	7名	
			於 茶房 かみたか
2月5日	幹事会	15名	
			於 中標津経済センター
3月13日	4役会		
			於 ラ・キンコ

委員会

2006年

5月18日	委員長・部会長会議	6名	
			於 中標津経済センター
6月9日	経営企画委員会	7名	
			於 中標津経済センター
8月21日	共同求人・共育委員会	5名	
			於 西陣

総会・交礼会・例会

2006 年

4 月 13 日 社員研修会 15 名

於 羅臼町商工会館

【講演】「企業における幹部の役割 社員の役割」

講師：(株)コム 社長 小川 安夫 氏

4 月 27 日 第 23 回定時総会 50 名

於 寿宴

【記念講演】「地域とともに生きる企業づくり」

講師：北海道中小企業家同友会

代表理事 三神 純一 氏

6 月 1 日 例会 20 名

於 中標津経済センター

〈テーマ〉「中小の同族会社経営に大幅課税！」
～役員給与控除額が損金不算入になる～

講師：北山幸徳税理士事務所

税理士 北山 幸徳 氏

6 月 29 日 6 月例会 25 名

於 中標津経済センター

〈テーマ〉「あなたの会社は 10 年後に存在していますか？」

7 月 22 日 羅臼移動例会 15 名

於 羅臼の宿まるみ

〈テーマ〉「経営の課題について大いに語り合ひましょう」

7 月 23 日 羅臼移動例会 12 名

於 羅臼

■内容 1. 知床岬上陸ツアー
2. 羅臼湖トレッキング

8 月 29 日 別海懇談会 17 名

於 郊楽苑

〈懇談会内容〉・同友会の動向についての報告

9 月 15 日 ゴルフコンペ 懇親会 15 名

於 中標津 CC、茶山

9 月 25 日 9 月例会 28 名

於 中標津経済センター

【講演】「同友会が目指す良い会社とは」

講師：(株)コム 社長 小川 安夫 氏

10 月 17 日 10 月例会 27 名

於 中標津経済センター

【講演】「道が策定している新しい総合計画と

は」

講師：北海道企画振興部地域振興・計画局

主幹 白幡 哲史 氏

11 月 10 日 釧根経営セミナー 100 名

於 中標津経済センター

【記念講演】「人が輝く経営をめざして」

講師：中小企業家同友会全国協議会

会長 赤石 義博 氏

11 月 27 日 11 月例会 20 名

於 なかまっふ

「構造改革特区で地域経済の再生は可能か」

講師：北海道企画振興部

参事 佐藤 靖史 氏

12 月 4 日 望年会 24 名

於 寿宴

「今年を振り返り、2007 年を展望しましょう」

2007 年

1 月 15 日 新年交礼会 50 名

於 トーヨーグランドホテル

【新春講演】

「人を惹きつけ人をつなぐ、物を活かし業を起こす」

講師：(株)電気工事西川組

代表取締役 西川 辰美 氏

2 月 22 日 2 月例会 15 名

於 中標津経済センター

〈テーマ〉「経営指針を作って第二の創業を目指そう」

3 月 27 日 3 月例会 20 名

於 なかまっふ

〈テーマ〉「地域と業界の現状報告、そして明日の地域産業を考える」

【報告】

(株)イソジェック 社長 磯田 忠雄 氏

大標熱学(有) 社長 松村 康弘 氏

(有)中山農場 社長 中山 勝志 氏

(有)スポーツ・ピア 社長 秋山 俊彦 氏

青い鳥動物病院 院長 中田千佳夫 氏

経営指針づくり研究会

2006 年

4 月 7 日 経営指針づくり研究会 5 名

於 なかまっふ

■内容 SWOT (スウオット) 分析表を仕上げ

る

5月29日 経営指針づくり研究会 6名
於 (株)ハタ建材
■内容 佐々木さんが作成した経営指針（理念・方針・計画）を公開します

7月18日 経営指針づくり研究会 5名
於 なかまっふ
■内容 企業の経営理念、経営方針、経営計画を3カ月でつくりあげましょう

7月27日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 なかまっふ
■内容 経営理念の発表

8月3日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 中標津経済センター
■内容 SWOT分析表の発表

8月18日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 なかまっふ
■内容 SWOT分析表と指針シート4bの発表

8月31日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 郊楽苑
・ライフプラン ・経営理念 ・事業の明確化
・ビジョン ・問題提起 ・問題解決
・経営課題

9月14日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 なかまっふ
・ライフプラン・経営理念・事業の明確化
・ビジョン・問題提起・問題解決・経営課題

10月4日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 なかまっふ
経営方針を作ろう

10月23日 経営指針づくり第二グループ 5名
於 なかまっふ
〈テーマ〉 ⑧経営方針の完成、⑨三カ年中期計画の作成

12月1日 経営指針づくり研究会 5名
於 なかまっふ
〈テーマ〉 「経営指針を発表しましょう」

獺の会

2006年

4月17日 例会（総会） 10名
於 中標津経済センター
■内容 今年度の活動計画（案）についての打

合せ		
5月15日	5月例会	9名
	於 なかまっふ2階	
■議題	今後の具体的な活動計画（案）について討論	
6月15日	6月例会	8名
	於 中標津経済センター	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
7月13日	7月例会	9名
	於 中標津経済センター	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
8月17日	8月例会	9名
	於 中標津経済センター	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
9月14日	9月例会	8名
	於 中標津経済センター	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
10月12日	10月例会	9名
	於 なかまっふ	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
11月14日	11月例会	8名
	於 なかまっふ	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	
12月13日	望年会	10名
	於 寿宴	
「今年を振り返り、2007年を展望しましょう」		
2007年		
1月12日	1月例会	9名
	於 中標津経済センター	
■議題	新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について	

1月21日 三支部青年部合同例会 代表者会議

7名

於 富貴庵

2月13日 2月例会 9名

於 なかまっふ

■議題 新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について

2月17日 釧根三支部青年部合同例会 21名

於 寿宴

【講演】『富士計器新商品開発物語
～新商品はお客様の立場で考えることから誕生する～』

(株)富士計器

総務部課長 伊藤 彰芳 氏

3月13日 3月例会 9名

於 なかまっふ

■議題 新商品開発プロジェクト 各部門の進捗状況の確認と今後の具体的な活動について

中小企業振興基本条例制定会議

2006年

7月4日 会議 15名

於 なかまっふ

2007年

3月20日 会議 12名

於 なかまっふ

2006年度 釧根事務所収支決算書

(2006年4月1日～2007年3月31日)

収入の部 (貸方)				支出の部 (借方)			
	勘定科目	2006年度予算	2006年度実績		勘定科目	2006年度予算	2006年度実績
経常収入	入会金	800,000	966,000	活動費	印刷費	900,000	437,933
	(釧路)	(560000)	(854000)		通信費	1,200,000	862,361
	(根室)	(80000)	(16000)		(郵送料)	(220000)	(151485)
	(南しれとこ)	(160000)	(96000)		(電話料)	(800000)	(467428)
	会費還元金	6,886,000	7,277,000		(FAX料)	(180000)	(243448)
	(釧路)	(4400000)	(4764000)		交通費	1,500,000	1,534,797
	(根室)	(720000)	(735000)		出張宿泊費	250,000	403,840
	(南しれとこ)	(1150000)	(1168000)		釧路会合費	3,900,000	6,416,868
	(前期未収入分)	(616000)	(610000)		(例会・総会)	(3200000)	(4635255)
	寄付金	150,000	0		(教育・研究会)	(700000)	(713811)
	釧路会合収入	4,600,000	5,606,395		(地区会)	(0)	(1067802)
	(例会・総会)	(3500000)	(3582285)		根室会合費	780,000	628,109
	(教育・研究会)	(1100000)	(1080980)		(例会・総会)	(700000)	(566654)
	(地区会)	(0)	(943130)		(教育・研究会)	(80000)	(61455)
	根室会合収入	780,000	663,500		南しれとこ会合費	1,480,000	1,317,588
	(例会・総会)	(700000)	(583500)		(例会・総会)	(1400000)	(1277466)
	(教育・研究会)	(80000)	(80000)		(教育・研究会)	(80000)	(40122)
	南しれとこ会合収入	1,480,000	1,251,600		三支部合同事業費	400,000	291,233
	(例会・総会)	(1400000)	(1206600)		広報・名簿広告費	20,000	0
	(教育・研究会)	(80000)	(45000)		図書調査費	350,000	347,456
	三支部合同事業収入	450,000	258,600		記録費	10,000	0
	広報・名簿広告収入	20,000	0		共同求人費	300,000	119,565
	共同求人収入	320,000	326,525		小計 ③	11,090,000	12,359,750
	雑収入	15,000	286,332	事務所費	家賃・共益費	1,665,000	1,679,710
	小計 ①	15,501,000	16,635,952		水道・光熱費	440,000	430,249
特別収入	特別活動費引当金繰戻	0	190,000		事務用品・雑費	598,000	716,758
	小計 ②	0	190,000		慶弔費	100,000	261,500
					什器備品費	200,000	213,062
					コンピューター関係費	350,000	292,655
					小計 ④	3,353,000	3,593,934
				その他	納税 (自動車税)	78,000	74,000
					車両購入引当金	500,000	0
					備品購入引当金	195,000	0
					特別活動費引当金	285,000	285,000
					(釧路)	(200000)	(200000)
					(根室)	(35000)	(35000)
					(南しれとこ)	(50000)	(50000)
					小計 ⑤	1,058,000	359,000
					a 当期支出合計 (③+④+⑤)	15,501,000	16,312,684
					b 当期剰余金	0	513,268
					合計 (a+b)	15,501,000	16,825,952
					c 前期繰越金	3,936,786	3,936,786
					次期繰越金 (b+c)	3,936,786	4,450,054
	合計 (①+②)	15,501,000	16,825,952				

北海道中小企業家同友会釧根事務所
貸借対照表
(2007.3.31現在)単位:円)

資産の部(円)		負債の部(円)	
(流動資産)		預り金	
現金	53,358	(釧路みけた会預り金)	305,843
普通預金	3,462,688	(釧路あゆみの会預り金)	43,034
普通預金(引当金等)	2,896,950	(釧路幹部次学同窓会預り金)	216,886
定期預金	821,359	(釧路マルチメディア研究会預り金)	235,991
切手・ハガキ類	6,956	(釧路ノイズ倶楽部)	5,495
用紙他	14,016	(釧路登山同好会 マウンテンクラブ)	5,000
未収入金	610,000	(根室山高会預り金)	229,601
		(南しれとこ親の会預かり金)	78,473
		引当金	2,896,950
		(車両購入引当金)	783,065
		(ど〜ゆ〜祭引当金)	789,458
		(記念事業引当金)	430,239
		(事務所備品購入引当金)	799,147
		(特別活動引当金)	95,041
小計1	7,865,327	小計3	4,017,273
(固定資産)		(自己資産)	
敷金	390,000	前期繰越金	3,936,786
電話加入権	212,000	当期剰余金	513,268
小計2	602,000	小計4	4,450,054
合計(1+2)	8,467,327	合計(3+4)	8,467,327

普通預金内訳		3,462,688	定期預金内訳		821,359
大地みらい信用金庫 新橋支店		387,442	北洋銀行 新橋大通支店		217,380
大地みらい信用金庫 中標津支店		270,051	大地みらい信用金庫 釧路新橋支店		100,518
大地みらい信用金庫 根室本店		1,303,984	大地みらい信用金庫 釧路新橋支店		100,518
釧路信用金庫 愛国支店		368,496	釧路信用金庫 愛国支店		302,267
北洋銀行 釧路中央支店		1,064,099	釧路信用金庫 愛国支店		100,676
大地みらい信用金庫 厚岸支店 歴史講座用		68,616			
引当金等内訳		2,896,950	未収入金内訳		610,000
大地みらい信用金庫 新橋支店特別活動引当金		95,041	(2007年4月6日入金分還元金)		610,000
大地みらい信用金庫 新橋支店備品引当金		799,147			
大地みらい信用金庫 新橋支店記念事業引当金		430,239			
大地みらい信用金庫 新橋支店車両購入引当金		783,065			
釧路信用金庫愛国支店 ど〜ゆ〜祭引当金		789,458			

※この他に北海道中小企業家同友会(本部会計)内に釧根三支部保有の基金70万円があります。

< 備品台帳 >

パンフレットスタンド	3	ビデオデッキ	1	スチール書棚	9
事務机	4	テープレコーダ	1	食器棚	1
補助机	3	冷蔵庫	1	デジタルカメラ	2
テーブル	10	電話機	8	テープレコーダ	1
スチールロッカー	1	テレビ	1	乗用車	2
黒板、ホワイトボード	3	コンピューター	5	(プリメーラ そ 6662)	
冷蔵庫	1	ビデオデッキ	1	(ランサー ち 464)	
電話機	8	受付カウンター	1	FAX機	1
テレビ	1	事務用椅子	3	印刷機	2
コンピューター	5	会議用椅子	39	デジタルビデオ	1

2007年4月4日

<会計監査報告>

北海道中小企業家同友会釧根事務所2006年度決算は、監査の結果、適正かつ正確に処理されていることをとめます。

吉本裕計(印)
3月 幸 徳(印)

議題＜１＞ ２００７年度の活動方針案と予算案の提案

「良い会社をつくろう。良い経営者になろう。良い経営環境をつくろう」という同友会三つの目的は、厳しい時代になればなるほど輝きを放ちます。今年度も委員会を中心に支部内の四つの町に広がった会員企業の繋がりを強化して参ります。

（１）「中小企業憲章」の学習と自治体の中小企業振興条例の研究を進めましょう。

全道、全国の運動と連携して、『中小企業憲章』や『中小企業振興基本条例』などの研究を進めます。今年度は中標津町での条例の制定を目指して活動を進めます。

（２）１２０社会員を達成しましょう。

南しれとこ支部の会員数は３月末現在で１１１社になっております。新しい会員が入会することは、新しい魅力を持った教師を迎えることであり、経営に役立つ辞書が１頁増えることになります。中標津町、別海町、標津町、羅臼町などでも懇談会を開催して会員の輪を広げましょう。今年度は別海町の組織強化に力を注ぎます。

（３）別海地区会を発会させましょう

別海町には２５社の経営者が入会していますが、今年度は別海町に「地区会」を発足させ、より地域に密着した同友会活動を繰り広げましょう。別海地区会は４０社を目標に会員拡大を進めましょう。

（４）経営指針づくり研究会を継続します

２００４年度から始まった「経営指針づくり研究会」の第３グループを発会させましょう。

（５）中標津町以外でも経営懇談会を開催しましょう

行政の枠を越えた地域経済や広域の政策課題についても学んで参りましょう。

（６）社内の経営のパートナーを育てましょう

他支部から講師を招いて社員研修会を開催しましょう。「学習権宣言」の精神に立脚して「共育力」のある企業づくりをめざしましょう。

（７）共同求人活動をより幅広くすすめましょう

根室支庁や町、商工会、ハローワーク根室、さらに他の団体とも協力して地元企業が人材を確保するための方策を考え取組んでまいります。

（８）故郷の歴史や産業を見つめなおしましょう

地域の潜在的な可能性や、新しい産業の可能性を探って参ります。

（９）部会活動で活気ある支部をつくりましょう

１３年前にスタートした、青年経営ゼミナール「獺（ばく）の会」は、青年経営者と幹部が自主的に学びあう部会として活動をすすめてまいります。基礎的な経営のための知識を中心としてゼミナール形式で互いに学びあう活動をすすめます。獺の会では、釧路支部の「みけた会」や根室支部の「山高会」との合同企画も進めて参ります。

（１０）全国、全道、釧根三支部の交流を活発にしましょう（担当：４役）

釧根三支部６０９社、全道４，９２３社、全国４万社の同友会会員企業は、会員企業にとって貴重な活用すべき財産です。今年度も、会員同士のネットワークを築き、交流をすすめてまいりましょう。全国行事や１０月に苫小牧で開催される「全道経営者共育研究集会」今年度は根室で開催される「釧根経営セミナー」に積極的に参加しましょう。

【2007 年度の行事】

- ◆全国女性部交流会（６/７～８日 東京）、◆全国総会（７/５～６ 香川）、◆全道青年部交流会（７/２０～２１ 函館）、◆青年経営者全国交流会（９/１３～１４ 山口）、◆全道経営者共育研究集会（１０/１９～２０ 苫小牧）、◆中小企業問題全国研究集会（３/６～７ 宮城）

（１１）経営相談、経営に役立つ情報提供、講師派遣等の活動の充実をめざしましょう

講師派遣・経営相談・経営に役立つ情報提供活動を重視し、その充実をはかってまいります。これらの活動は、事務局を窓口にするべく対応することを心がけてまいります。また、同友会を窓口とする興信所への調査依頼は、“早い、安い、安心”と好評です。お気軽にご相談いただけるようＰＲにつとめてまいります。

2007年度 釧根事務所予算(案)

(2007年4月1日～2008年3月31日)

収 入 の 部 (貸方)				支 出 の 部 (借方)			
経常収入	勘定科目	2006年度実績	2007年度予算	勘定科目	2006年度実績	2007年度予算	
	入会金	966,000	720,000	印刷費	437,933	450,000	
	(釧路)	(854000)	(560000)	通信費	862,361	850,000	
	(根室)	(16000)	(48000)	(郵送料)	(151485)	(150000)	
	(南しれとこ)	(96000)	(112000)	(電話料)	(467428)	(450000)	
	会費還元金	7,277,000	7,428,000	(FAX料)	(243448)	(250000)	
	(釧路)	(4764000)	(4840000)	交通費	1,534,797	1,300,000	
	(根室)	(735000)	(748000)	出張宿泊費	403,840	700,000	
	(南しれとこ)	(1168000)	(1230000)	釧路会合費	6,416,868	5,850,000	
	(前期未収入分)	(610000)	(610000)	(例会・総会)	(4635255)	(4000000)	
				(教育)	(713811)	(700000)	
	釧路会合収入	5,606,395	5,550,000	(研究会)		(50000)	
	(例会・総会)	(3582285)	(3500000)	(地区会)	(1067802)	(1100000)	
	(教育)	(1080980)	(1000000)	根室会合費	628,109	780,000	
	(研究会)	(0)	(50000)	(例会・総会)	(566654)	(650000)	
	(地区会)	(943130)	(1000000)	(教育)	(61455)	(80000)	
	根室会合収入	663,500	700,000	(研究会)	(0)	(50000)	
	(例会・総会)	(583500)	(600000)	南しれとこ会合費	1,317,588	1,600,000	
	(教育)	(80000)	(80000)	(例会・総会)	(1277466)	(1250000)	
	(研究会)	(0)	(20000)	(教育)	(40122)	(50000)	
	南しれとこ会合収入	1,251,600	1,550,000	(研究会)	(0)	(50000)	
	(例会・総会)	(1206600)	(1200000)	(地区会)		(250000)	
	(教育)	(45000)	(50000)	三支部合同事業費	291,233	350,000	
	(研究会)	(0)	(50000)	広報・名簿広告費	0	20,000	
	(地区会)		(250000)	図書調査費	347,456	370,000	
	三支部合同事業収入	258,600	250,000	共同求人費	119,565	50,000	
	広報・名簿広告収入	0	20,000	小計 ③	12,359,750	12,320,000	
	共同求人収入	326,525	100,000	家賃・共益費	1,679,710	1,680,000	
	雑収入	286,332	150,000	水道・光熱費	430,249	450,000	
小計 ①	16,635,952	16,468,000	事務用品・雑費	716,758	744,000		
特別収入	特別活動費引当金繰戻	190,000	0	慶弔費	261,500	300,000	
				什器備品費	213,062	200,000	
	小計 ②	190,000	0	人件費	0	300,000	
				コンピューター関係費	292,655	400,000	
				小計 ④	3,593,934	4,074,000	
				納税(自動車税)	74,000	74,000	
				特別活動費引当金	285,000	0	
				(釧路)	(200000)	(0)	
				(根室)	(35000)	(0)	
				(南しれとこ)	(50000)		
				小計 ⑤	359,000	74,000	
				a 当期支出合計(③+④+⑤)	16,312,684	16,468,000	
				b 当期剰余金	513,268	0	
	合計(①+②)	16,825,952	16,468,000	合計(a+b)	16,825,952	16,468,000	
				c 前期繰越金	3,936,786	4,450,054	
				次期繰越金(b+c)	4,450,054	4,450,054	

議題<2>2007年度役員選出

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＜第２部 記念講演＞＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【演 題】

「社風が人を育てる」

～同友会の共育理念と社員教育活動での学びをもとに～

【講 師】

(株)ユタ力商会 代表取締役 本郷 利武氏
(北海道中小企業家同友会 代表理事)



＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1. 自己紹介、同友会との出会い

- ・ 1944年3月1日生まれ、北海道室蘭市本輪西町。
- ・ 1974年2月21日、(株)ユタ力商会に入社。
- ・ 1981年2月、先代が同友会に入会。
- ・ 1988年、未知の会(札幌支部青年経営者部会)設立時にお誘いを受けて参加。

⇒同友会はまつりのように明るい。

同友会の先輩経営者は白鳥のように優雅に思われる。

例会の後街ゆく人に優しくなれる。

友ありて、志ありて、未来あり。

社長という仕事は天職。

2. 同友会の先輩経営者から学んだ経営者の責任

- ・ 経営者はどんな環境の変化に直面しても激動を良き友として「気ばらず・急(せ)かず・諦めず」企業を継続・発展させる責任がある。
- ・ 経営指針の確立と成文化、さらに企業の隅々まで浸透させる責任がある。
- ・ 社員をパートナーと考え、信頼関係を築き、共に育つ環境をつくる責任がある。

⇒企業の発展とは量的拡大のみにあらず。経営指針の中で、特に経営理念の浸透が大切である。会員企業と事務局との関係も、企業と取引先との関係もパートナーであり、信頼関係を築き、共に育つ環境をつくるのが大切である。

3. 経営理念を掘り下げて、自分のものにしていますか？

- ・ 住まいとは人生観の表現です →表現されたインテリアを通して、人生を深く理解する能力を高めます。高めた能力を人々の「よりよい人生」に貢献できるように挑戦します。
- ・ 家＝ウ（うかんむり・屋根）＋ 豚
- ・ 玄関のドアが外側に開くのは日本の常識ですが…
- ・ お客は神の友、急ぐのは悪魔の仕業。正当な労働の対価以外は受取ってはならない。（アラブの諺、訓え）

⇒経営理念を暗唱しておしまいにするのではなく、生活観に引き寄せて、色々な角度から意見を出し合い、社員一人ひとりにとって納得できるものにすることが大切です。経営理念を自分のものにできる時、人は積極的・創造的姿勢で仕事に取り組めます。その姿勢が生きる力を育てることになります。

4. 人育てについて共通認識を築いていますか？

- ・ どこに出しても、どこに行っても通用する社会人を育てる。
- ・ 一人ひとりの技術・技能を高める
- ・ 豊かな人間性(わがままに陥らない個性)を育てる

⇒人は、まわりから成長を促す刺激を受けて育ちます。家族からは家風という刺激を受け、学校からは校風、地域からは地域の風、時代からは時代の風、会社からは社風という刺激を受けて育ちます。一人ひとりが、人に成長を促す刺激を与えられる存在になり、お互いに切磋琢磨して育ちあう。という「風」を大切にしたいものです。

5. 正しくないことには厳しく臨んでいますか？妥協していませんか？

- ・ 誘惑あふれる社会…ローン地獄
- ・ 「いのち」の大切さに無関心・・・運転免許取消処分報告書
- ・ 泣いて馬謖(ばしょく)を切る・・・規律を守るため、個人的感情をおさえて、厳しく処分することの例え・・・役員規定を明文化した経緯

⇒絶対に許せないこと。しかし、罪を憎んで人を憎まず。

6. 可能性を引き出し、大きく育てていますか？

- ・ 入社3ヶ月、6ヶ月、1年を振り返って
- ・ 社会人として学んだこと、大学で学びたいこと

⇒人は、一人ひとりが違って生まれてきます。ともすれば、人間は違うものを排除しがちですが、それでは人間の社会は成り立ちません。一人ひとりの違いを認め、一人ひとりが持っている可能性を引き出し、引き出された可能性を人のために使うにはどうしたら良いかを学びあうのが教育です。人は引き出された可能性に自信を持ちます。また、人は幸せになるために生まれてきます。幸せとは何かを考え、幸せの実現のためにはどうしたら良いかを学びあうのが教育です。人は、万人の幸せに貢献していることに誇りを持ちます。一人ひとりが自信と誇りを持つ。それが今、求められています。

7. 私たちの社会はどこに向かっているのでしょうか？

- ・ 地域経済の地盤沈下・・・地域社会の崩壊
- ・ 「〇〇屋さん」の消滅・・・お米屋さん、金物屋さん、薬屋さん、靴屋さん etc.
- ・ 格差拡大の進行・・・地域格差、雇用格差、所得格差→教育格差
- ・ 売れている価格帯の二極化・・・顧客層の二極化・・・中間層の崩壊

⇒あるべき社会の指針<憲法>

◎国の主人公は国民(主権在民)・・・地域の主人公は住民(地域主権)

◎人が人として尊重され、人として生きるのに相応しい生存条件は、確保されるべきもの(基本的人権)

◎戦争によって人を殺さず、殺されず(交戦権放棄)

<まとめ>

あなたにとって、お金以外で大切なものは何ですか？

- ・ 世の中から「紛争の種」はなくならないが、「紛争を戦争にする」ことによって「儲かる人たち」がいる。
- ・ 世界企業になった自動車や情報通信などは、いつでも「軍需産業」になりうる事業体である。
- ・ こうした企業が自分たちのビジネスチャンスを拡大するため「国のありかた」に手をつけようとしている。
- ・ 「戦争」は決して天災や災害ではなく、人間が起こすものである。また、戦争をくい止めようと努力するのも人間である。

⇒教育は子どもたちの幸せのためにあります。子どもたちの幸せこそ社会の未来であり、子どもたちの笑顔は人類の希望です。

Nordland
by YUTAKA CO., LTD. SAPPORO
株式会社ユタカ商会

経営理念

北国の住まいを楽しく！これを目標に、
専門業種としての姿勢を正し、
創造力を発揮して
明朗・誠実・積極的に行動し、
限りなき生活文化に貢献する。



登録No.

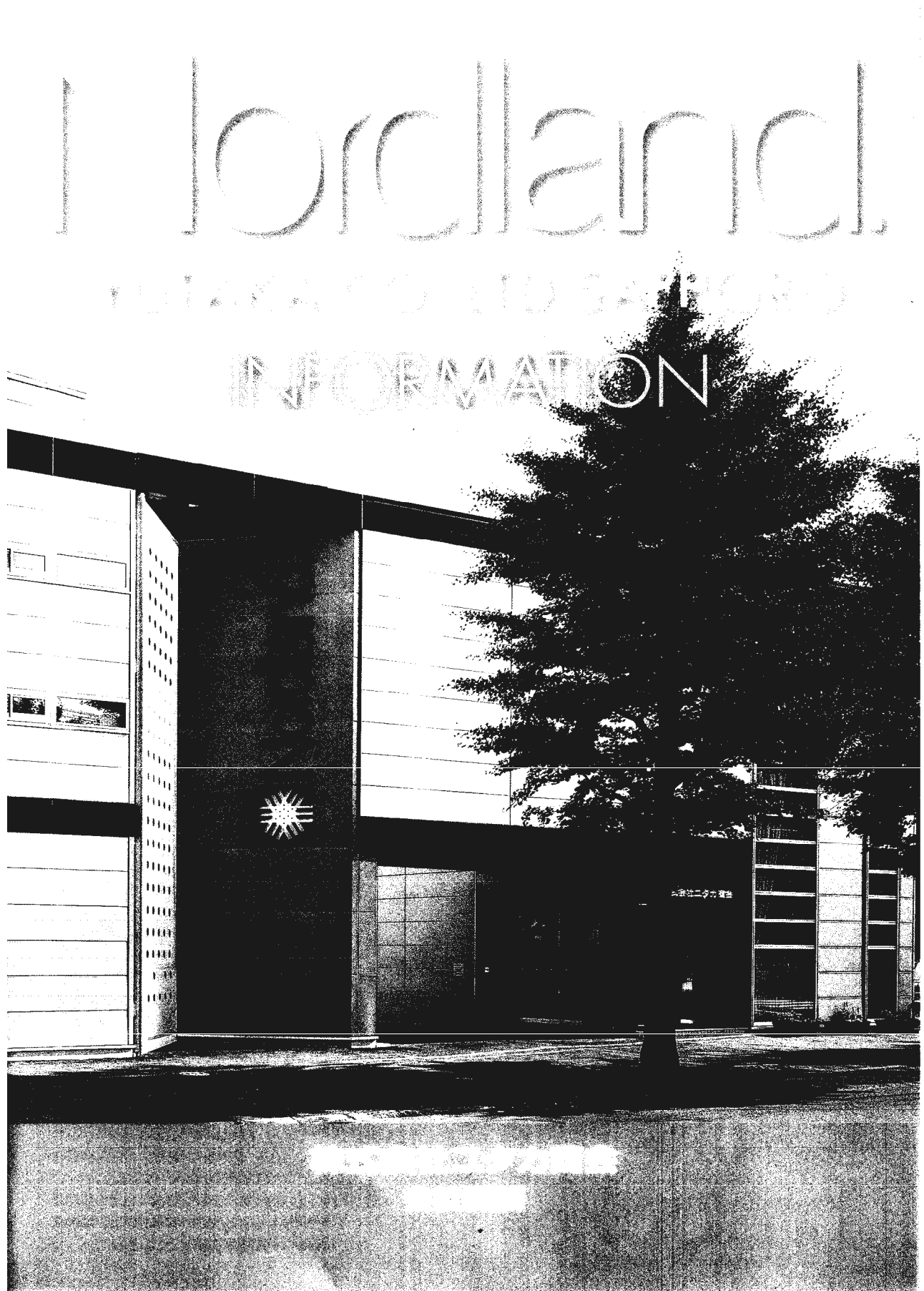
管理
責任

2007年度

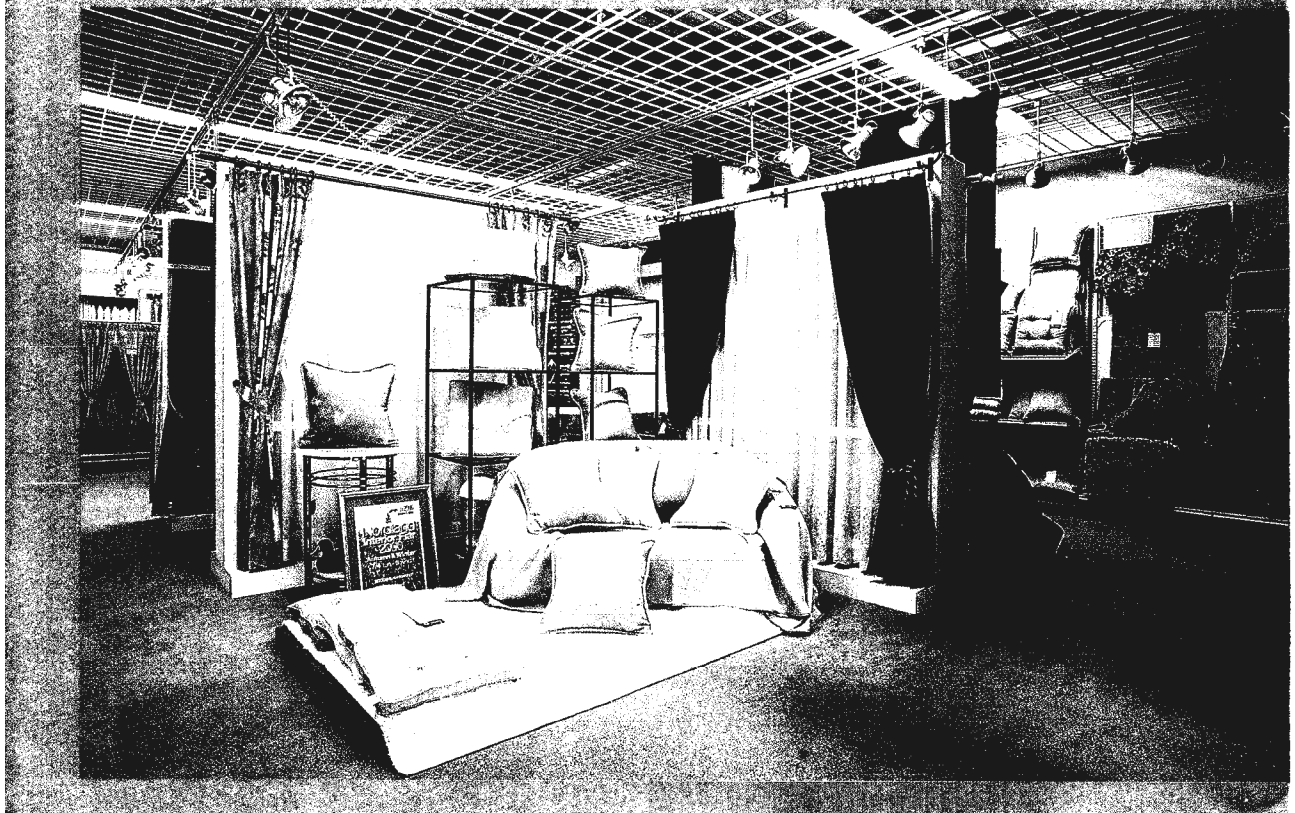
経営方針書

●2007年度スローガン

目指せNo.1!
ニーズを捉え、考動前進。

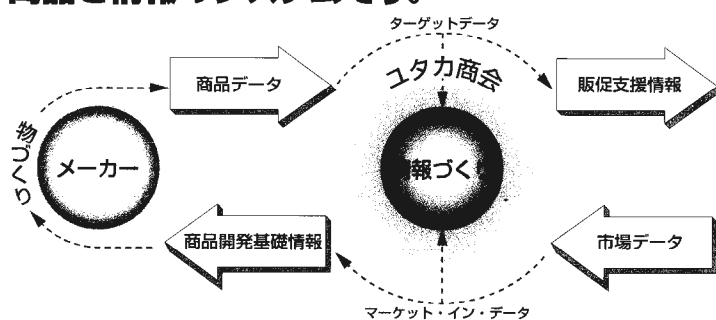


Nordland® SHOWROOM



SYSTEM of YUTAKA

**これがユタカ商会の、そしてノルドランドの
商品と情報のシステムです。**



ユタカ商会の目指すものは、店頭で商品を買っていただける「お客様づくり」、そしてそのための商品としての「物づくり」です。

お客様づくりとは、小売店に支持される卸としての機能づくり、そして小売店の売上増進に貢献する小売店への支援を意味しています。

そしてもう一方の物づくりは、マーケット・イン・データ、すなわち「お客様」づくりに関連して得た市場情報をどれだけ多く商品に盛りこめるかということにかかっています。

流通データベースを活用し、より市場を活性化していく、ユタカ商会の長年にわたるこのような姿勢は関係各方面から高い評価をうけています。



CONCEPT

**北国の住まいを楽しく
それがユタカ商会の願いです。**

ユタカ商会のオリジナルインテリアグッズのブランド、それがノルドランドです。

ユタカ商会在、北国のために同じ北国に住む者としてその気候、風土を通じたきびしい目で企画し選びぬいたノルドランドのマークは北国の雪の大地に立つ一本の木としてデザインされました。

感性の時代といわれている今日、多様化する情報社会の中で北国の大地にしっかりと根をおろして日本中に、そして世界に感性のアンテナを広げるノルドランドは「北国の住まいを楽しく」というユタカの願いを通じて北国の新しいインテリアファッションを、そして新しい生活文化の創造を目指すシンボルです。



Nordland®
YUTAKA CO.,LTD.SAPPORO

店作り情報 発信基地を目指す新社屋

北一条通り拡張に伴い、1998年9月から取り組んだ社屋新築計画により、1999年12月に竣工しました。

新ショールーム・事務所棟は旧ショールーム西側に位置し、各フロア70坪×三層の鉄骨構造で延べ面積約210坪、中庭状になった旧ショールーム跡地を20台収容の来客駐車場として使用しています。

表参道沿い間口36m、面積340坪の敷地内には既存3棟の鉄骨三層倉庫群(延べ床面積500坪)も併設され、それぞれカーテン、カーペット、インテリアアクセサリ一の物流基地として、日本全国に「北国のインテリアファッション」を発信しています。

今回留意したポイントは、ユタカ商会在常日頃撮影している店づくりの要素を、「小売店の実物大模型」として現物でお見せしたいというものです。

設計は下村隆一氏の代表作としては、札幌区大田公園、本町町ステラプラザ＝北海道赤レンガ建築賞受賞、石狩川治水資料館(滝川市)、オホーツク治水館(網走市)、石狩市立図書館等があり、札幌市都市景観賞(二回)など受賞歴も多く、時代と地域の「ひと」の環境意識を大切に考える近代的でシャープな空間の創造者として高い評価を受けています。

Nordland

by YUTAKA CO., LTD. SAPPORO

建築・設計・インテリア・インテリア

YUTAKA CO., LTD. SAPPORO
Tel. 011-442-6110 Fax 011-442-6120



ご参考

このほど、帯広市に中小企業振興基本条例が制定されました。同友会帯広支部が市や商工会議所と協議を重ねながら、粘り強く制定運動を継続した結果です。

同友会は全道の拠点都市に条例の制定を働きかけています。

=====

帯広市中小企業振興基本条例

帯広・十勝は、民間開拓団の入植以来、先人たちの弛まぬ努力によって、農業及び関連する幅広い産業が発展を遂げてきました。

今日でも、農業を基盤として、食品加工や農業機械など関連産業が発達しているほか、消費・サービス、運輸・流通など幅広い産業が展開しており、帯広市は、広く十勝の産業と関連性を深めながら、十勝の産業や生活を支える中心都市として発展してきています。本市産業を支える中小企業は、地域資源が持つ価値を限りなく発揮させ、雇用を確保・拡大し、市民所得の向上をもたらすなど、帯広・十勝の地域経済の振興・活性化を図る極めて重要な担い手であります。

地域産業の発展に重要な地位を占める中小企業の振興が、帯広・十勝の発展に欠かせないものであることの理解を地域で共有し、関係者の協働で地域経済の振興を図ることにより、もって地域の発展に資するためこの条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、地域産業の発展に果たす中小企業の役割の重要性にかんがみ、帯広市の中小企業振興に関して基本的な事項を定めることにより、その基盤の強化及び健全な発展を促進し、もって産業及び地域社会の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号の定めるところによる。

(1) 中小企業者 中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条第1項各号に定めるものをいう。

(2) 中小企業者等 中小企業者、事業協同組合、事業協同小組合、協同組合連合会、企業組合、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合、商店街振興連合会その他市長が適当と認めた中小企業団体をいう。

（中小企業振興の基本的方向）

第3条 この条例の目的を達成するため、市及び中小企業者等が協働して中小企業の振興を図る基本的方向は、次のとおりとする。

- (1) 帯広・十勝の地域資源を活用する起業・創業及び新技術・新事業開発の支援
- (2) 技術・技能の向上をはじめとする人材の育成及び担い手づくりの促進
- (3) 経営基盤の強化
- (4) 産業基盤の整備
- (5) 中小企業者の組織化の促進及び中小企業団体の育成

（市長の責務）

第4条 市長は、前条の規定に基づき、地域の中小企業関係団体と密接に連携し、中小企業振興のための指針を定めるものとする。

2 市長は、国、北海道その他の公的団体等と連携し、融資のあっせん、助成金の交付その他中小企業者等に対する支援等必要な施策を講じなければならない。

（中小企業者の役割と努力）

第5条 中小企業者は、自助の精神にのっとり経営基盤の改善・強化、従業員の福利向上に努めるとともに、地域環境との調和及び消費生活の安定・安全確保に十分に配慮し、地域経済の振興発展に貢献するものとする。

2 中小企業者は、それぞれの地域及び業種等を中心に組織化を図るとともに、中小企業者等による共同事業の実施、商店街組織への加入等相互に協力するよう努めるものとする。

（市民の理解と協力）

第6条 市民は、帯広・十勝の中小企業が地域経済の振興・発展及び市民生活の向上に果たす重要な役割を理解し、地域中小企業の育成・発展に協力するよう努めるものとする。

（委任規定）

第7条 この条例の施行について必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

（帯広市中小企業等振興条例の廃止）

2 帯広市中小企業等振興条例（昭和54年条例第26号）は、廃止する。